

# 「顧客に選ばれるために」 神鋼鋼板加工の挑戦！



4号レーザ定盤の一部スペースを常に「短工期」に対応に確保



水上 社長

国内高炉製厚板で橋梁や建築鉄骨向け切板生産を手掛ける、いわゆる「建材型」の高炉メーカー系シャ

は、厚板溶断業界の大手クラスと位置付けられる。工場には親会社から搬入される広幅長尺厚物母材を大量に常備できる置場スペース

顧客層も橋梁メーカーや、匠性が高い建築構造物の増

## 鉄骨小物切板の納期順守、即納、二次加工

# 全社横断プロジェクト、着々と

Sフアブと称される建材大加や建設工期そのものの短手を中心で、高炉メーカー縮傾向などによって鉄骨向と需要とのサブライチェンを構築し、主にプロシエクト物件を手掛けることを特性とする。

もともとメーカーシャ「橋梁向け切板」を手掛けることが使命であり、その技術力や管理体制、操業ノウハウといった信頼性と強みを担保に橋梁開散期に大型鉄骨プロジェクト案件を手掛けるなどの思想がベースにある。



小物切板製品群

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「短工期全社一丸で」関東地区における神戸製鋼所直系の神鋼鋼板加工（社長・水上孝一氏は、こう

彼らは機を見てSフアブ望を見据え、鉄骨向けで台頭してきた同業の動きも捉えながらCS向上に向けた小物・小ロット切板の納期対応力や二次加工対応力の強化が自社の受注促進とともに付加価値向上による収益力の拡大につながるが判断

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

人手不足がかつての数量に型・厚物の変種変量・即納対応プロジェクト（PJ）」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、

「超短工期特別」の「4本の柱」を設定。期間を今年4月から26年12月までとし、フェーズを「ステップ1/2」に分けて達成目標を明確に定めた。成目課では顧客からの「短納期指定」に対し、